

水道&下水道

「まちの中でこれって何のために設置されているの？」
と疑問に感じたことはありませんか？

あなたのギモンに
お答えします

これってナニ？

上水道

消火栓

皆さんは、まちを歩いているときに「消火栓」と記された四角型や丸型の鉄のふたを見たことはありませんか？

この鉄のふたの中には消火栓の取水口があり、火事の際に消防隊が消火用の水源として使用します。消火栓付近に車やオートバイなどが駐車されていると、火災発生時に消火の妨げになりますので、消火栓付近での駐車はやめましょう。



消火栓の鉄のふた



特殊器具を用いて回すことで水が出ます

「空気弁」や「仕切弁」と記してある鉄のふたがありますが、いったい何に使用しているのでしょうか？

空気弁

地面の下にある水道管は、一直線ではなく上下左右に曲がっています。その中の凸部には空気が溜まりやすく、その空気のために通水が阻害されたり、水と混ざりあって白い水が出たりするので、管内の空気を抜くために設置されています。



空気弁の鉄のふた

設置することで自動的に管内の空気を排出する役割を果たします

仕切弁

送水管・配水管工事による断水時などに使用します。



仕切弁の鉄のふた

水道器具を用いて回すことで開閉します

下水道

樋門(ひもん)

河川沿いを歩いていると、左の写真のようなものを見たことはありませんか？
このような施設を樋門ひもんといいます。樋門とは、内水氾濫を防ぐために堤防内に設けられている施設のことです。

通常時は水路から河川に流れている水が、大雨などで河川が増水し水位が上昇すると、水路側の水位が低くなり逆流することになります。そのような時に樋門を操作することで、河川から水路へ水が逆流することを防ぎ、河川の氾濫を抑制する効果があります。
※内水氾濫：洪水に対し、市街地内を流れる側溝や排水路、下水道などから水が溢れる水害のこと



出在家第1排水樋門

マンホール

道路上にあるマンホールのふたはよく見かけるとは思いますが、その内部がどうなっているのかはご存知ですか？
マンホールの内部は下水を流れやすくするインバートという溝が作られています。

マンホールは地下に埋まっている下水道管の点検、修繕、清掃などのために設けられている施設であり、作業員が入りやすいため設けられた縦孔であることから、man (人) hole (孔)と呼ばれています。

現在、川西市内では、約2万6000カ所設置されています。



黒川地区マンホール



マンホール内部の状況